

令和5年6月
第4回清水町議会定例会一般質問事項

質 議	問 席	者 氏	質 問	事 項
9		佐藤 幸一	1	<p>眼科診療科目の設置について</p> <p>本町の医療体制は、医療機関のご努力により充実されていることは大変喜ばしい限りである。</p> <p>しかし、残念ながら眼の病気については芽室町や帯広市へ通わなければならない。</p> <p>そのため、眼に異常を感じても受診が遅れがちになり、治療が長引くといったこともある。</p> <p>早期発見、早期治療により病気の悪化を防ぐためにも町内医療機関に眼科診療科目の設置を働きかける考えはないか伺う。</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席	氏 名	
2	田 村 幸 紀	<p>1 町内会活動に求められる共助意識の醸成とは</p> <p>まちづくりを進める上で重要なことは、町民一人ひとりが、「自分」にできることや、「地域」でできること、そして「行政」の役割は何かといった、自助・共助・公助がバランスよく保たれ作用する仕組みを考えながら生活することである。</p> <p>町内会はその中の共助の立場で、まちづくりを進めるにあたり重要な成果を出している社会資源と言え、行政サービスの一端を担い行政の効率性も十分図られてきた。</p> <p>高齢化による町内会役員の負担増や依然残る未加入世帯や若者の町内会不参加などの現状に改革の手を打たなければ、共助の立場を担う組織として機能しなくなる懸念が高まる。これからも、若者の町内会への帰属と参画意識、そしてやりがいを感じられる活動の仕組みをつくることが重要であり、その仕組みには公助の立場である行政が的確に関わっていかなければならない。</p> <p>これからの町内会のありかたについて町の考えを伺う。</p> <p>(1) 町内会未加入世帯に対する町の見解と、今後の加入促進対策を伺う。</p> <p>(2) 共助の要である町内会活動のありたい姿を今後どのように描き、何を求めていくのか伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
5	中河つる子	<p>1 小中学校の給食費無償化の実施を</p> <p>長引いたコロナ禍、そして不況や物価高騰による子育て世帯への経済的影響は大きいと思われる。</p> <p>また、最近の本町の出生数の低さも危惧している。</p> <p>全国、道内の状況として、公立小中学校の給食費の保護者負担を全額補助している市町村が増え、道内は令和4年度40市町村となっている。十勝管内でも、浦幌町、足寄町、陸別町、鹿追町、士幌町が実施している。</p> <p>平成30年7月に文部科学省が発表した「学校給食の無償化等の実施状況」調査結果によると、無償化を開始した目的として①食育の推進、人材育成②保護者の経済的負担の軽減、子育て支援③少子化対策、定住・転入の促進等があげられている。</p> <p>本町においては、今年度、給食費負担軽減事業として751万円の予算拡充を行い「物価高騰による影響を町費負担し、地元食材を多く活用した十勝清水恵みの給食を実施する」とした。</p> <p>この内容は食材費高騰分を町費で補い、保護者に負担をさせないとする事で、この施策は歓迎する。</p> <p>だが、給食費の無償化は、保護者の経済的負担の軽減、少子化対策、定住、転入の促進につながる事が期待されることから本町でも導入するべきと考える。</p> <p>以下について問う。</p> <p>(1) 食育、子育て支援、保護者負担の軽減、少子化対策、定住、転入の促進等の観点から、小中学校の給食費を無償化する考えはないか伺う。</p>	

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
1	山本奈央	<p>1 未来をつくる子どものしあわせな町とは</p> <p>清水町町民憲章 4章に「未来をつくる子どものしあわせな町にしましょう。」とある。本町には、こども園、小中学校、高校、それ以外に子ども達が過ごせる場として、学童クラブや文化センター、改善センター、図書館、公園などの町有の施設がある。</p> <p>これらの施設が子ども達の居場所としてしっかり機能しているか伺う。</p> <p>(1) 清水学童クラブの利用者から施設の老朽化や施設が手狭であるという声を聞いているが、清水学童クラブの利用人数や利用状況、建物の安全性について伺う。併せて、スクールバス利用児童への対応など各小学校との連携状況について伺う。</p> <p>(2) 文化センター、改善センター、図書館などの屋内施設について、子ども達から使いづらいという声を聞いているが、子ども達の使用実態について伺う。併せて、使いやすさ、満足度など子ども達の意見を聞き、運営に活かしているか伺う。</p> <p>(3) 児童公園の遊具が老朽化していると見えるが、子ども達の使用実態や安全性について伺う。併せて、使いやすさ、満足度など子ども達の意見を聞き、運営に活かしているか伺う。</p> <p>2 清水町の魅力をより知ってもらう為に出来る事は</p> <p>まちの活性化のために、移住体験型住宅や、保育園留学などの取り組みをし、子育て支援を含めた魅力発信を進めているが、その取り組みが「人ごと」ではなく、自分のまちの魅力発信だと町民に伝わっていないように思われる。</p> <p>町全体を巻き込んだ発信について、現状と今後の展望について伺う。</p>	

質 議	問 席	者 氏	名	質 問 事 項
3		只野敏彦		<p>1 経済政策と福祉政策について</p> <p>20%プレミアム付地域活性化商品券などの商品券事業は経済政策なのか、あるいは福祉政策なのか。 また、移動販売車カケル君は経済政策なのか、福祉政策なのか。 町長の考えを伺う。</p> <p>2 役場職員の町民への対応について</p> <p>町民の方から、役場職員の接客接遇対応が他町村の役場職員より悪いという声を聞くが、そのような声が届いているか伺う。</p> <p>3 視察研修について</p> <p>町議会議員の研修に担当所管課長が参加したり、職員研修に議員が参加したり、相互に視察研修等に参加できる体制ができないか伺う。</p> <p>4 スポーツ少年団等の大会参加費について</p> <p>少子化の中、スポーツ少年団等の児童の数も減っていると聞いている。昔なら人数が多く、大会参加費も1人当たりの負担が少なかったが、今は負担が重くて払えないという声を聞く。 町として助成する考えがないか伺う。</p>